

58.0

高等  
習字

古今和歌集序

卷

菱

潭

揮

毫

全

東京圖書館

新書門

部  
類

函架號冊

卷 菱潭書

古今和歌集序 全

高等科女子習字



やまやうたをひこのこと  
るを多祢としてよ詠法  
能いものはさるなな禮孝  
ける世中ふあぢ人志を

わがしーなまていそこのあれを  
こぼよおまじふいそよん  
まぬまてくものふはかていひ  
いせらる難い花よぬくうを

死を水よりまむつ末もつ乃  
こゑ字築本述いしまとくい  
るものいあまきの歌をよ方  
七らまらるなすくから越えいれは

しそあえつちふらういし  
めよき譽をぬたふのるををえ  
阿も身ととおもをせをを  
校むふれなりのををえやら

たけ幾えはふのいし  
字もななくさうむるの教あり  
木乃字よあえつちのひしけ  
はしあめらふらういし

ふぐろまきつゝの阿れとんせり  
つゝまきつゝの阿れとんせり  
あゝんまきつゝの阿れとんせり  
ふはまきつゝの阿れとんせり

にゝていままのをせぬこと  
よりおらあけちまや  
かゝよひまうた乃んせり  
まゝまのしぬまねはひま

いかに乃らわまかゝるべきし  
ひよれよあちてはまのむす  
乃らまといよりそみるもあ  
まのあゝいそよるんか

あゝいそよるんか  
うらやまあまのむす  
をかたむすいそよるんか  
いそよるんか

お花もいよよと花もつた  
もいよよはーまああそぶよ  
ふらふらと春の夜ふらふ  
とれちのひちよりなるを

あまやきたれをくまそおひ  
のほれるとくにたの歌え  
ふくのこころあそぶよ  
ま津たうみのおおん

は—免なりあかしのやまを  
えの葉もさう解免はふき  
よきをみては二歌をうたの  
父母のやうなふ手なり

姉ひとのは—めも—  
持も—い—ちまむり  
か羅乃—字たふえ—ある  
倍よそは—あのおつよ



きりうへいば本さあはみ。  
と城そ通くそあつたうた  
なになを都は咲やこの花  
みこも里いままさるいあぬや

このまれといるなまあな  
かつつかあちかちるうま  
さくつ花よおまひつくあ  
あちよなさいかよいあなま

いふも〜ぬきとら〜るあふ〜  
えつよる難きとら〜歎

まはぬきとらあ〜るあふの  
あふき〜いれも〜ひ〜ま〜る

まえやわ〜るあ〜るといふ  
ぬき〜よは〜るいぬき〜歎  
わの〜きも〜よん〜あ〜あ  
まは〜るあ〜は〜あ〜い〜

よみたるとぬとえんやいふなる  
倍し以法よりい角をあらうた  
い初も孝なれも世あるは  
いづのわひとのことなれ

い果らあとい契のぬ  
むつ小登いもえうた

このむまは(ま)もいみ  
あまはのまづもより

この法はくわせりやうにふねる  
屋へ今のよむ中へまはすま  
むものころる花はあつてあつて  
よるあきぬるうたはけの

なまいしむみいそとれる  
橋ろく乃このいふうもさ  
木はあつてさぬいぬあ  
てまえぬるやうなうは

花をいへばほろいへばは事  
おもあらぬたのわらたを  
ましめ字お母教をうまへ  
るくたなん何らぬいし一の

よははんてと春の花はあ  
た秋乃月は夜とふさ布  
羅ふひとふさ女とふさ  
たてまつるゝあはあは

まれ越るうみさそへたよりなま  
とくろよまのひあまの月字  
思ふとく志のなまも也  
たの程の心を思ひまひそ

はのねろのれ  
めくむ志のあまのみふ  
阿らまさをさへ  
たのまを  
たのまを

神のひよるるに此方よまたまの  
たのしみ心よあきらみか  
煙ふよるる人なこひまはたむ  
し乃きよ友をしのむる砂  
まみのねれねも阿ひおえ  
能やうよおゆえなをいこ山乃  
甘いのをおもいてくさのみれ  
るの一村をく解るふえ

うたをいひて音のあめ  
けるまの春のあゝたよ花の  
逢ねをえ秋は夕をねり

この葉乃おつるをまはるあま  
東にことくに鏡の影よん由  
る書と浪とよおなをよんか  
能る水のあゝ越みそわ  
方をねとらよあゝまのふ



まはりの正におゝるを時をうゝ  
なひよふよひをうゝかゝるも  
うよとくならり阿まをまはせやるの  
波をこの米に船中の水をこゝる

あまをまきいぢるもをなりの  
免阿のつまの志をたぬまねか  
まをあそくあまをたれしを  
のうまをうゝをうゝよひよ

いはをいびよてよの中一越  
うしを来つたよんいふの  
山と煙をいふをねりあつて  
のましもはくあるあつて人

歌りのいふところなりななく  
さめきいふよりかくな  
まゝうちにはいふはねおほ  
まゝ時よりあつて死るまゝあつて

か乃清世也歌はらるるを  
志ろりしめしるる奔彼  
おほんよよにおおよよみつの  
くらおのまのせよおんかある  
なんうよたのてしりありける  
これ者君えおよも方をあひ  
せらりといふなるし秋乃  
ゆふし籠田のまよあひるる

もみちをいみへののおほむ  
めふにいよといんいひまふ  
あーたよーのせあのかい  
くまひとまふのいこい  
おまといぬなんねい  
まー山初乃あひいふ人  
あまけり秋よりいよた  
なのおまといふ人いみ

多しきいひのほへあひひら  
大麻るのりもふたぬこと  
のしくねむるみける若人を  
たまたまのまじまじれる人者

ふれ竹のよいにまじえかゝるを  
たよあふしくえはり有ける  
こまじのまじまじの秋字あつん  
てあんの葉の葉集と名つぢ

種まじりかけのいふふいふ乃  
古と孝をん歌の心をもて  
人日法をふとむのいふ  
志のあれといふまじりの  
かきぬはぬところたつひり  
なんある波濤時よあまの  
年い百とあまの世の十つ  
なみ舞の如あふとまの

とれ越も歎字にしねる人よむ  
此と松ほのらぬしまにむとを  
ふよほくみかみかまか  
しやままきやうあれまひま  
まほのふちのまいよはりむ名  
まひんえんる人すれら傳正  
遍照をうこのまははるれ  
とま来ほのまの形角とひ

あよのまはるをじんあまひんていた  
つふ心をうらたぬこゝろあり  
はらけなまひらけり  
あまわてこゝろはこゝろを  
めまをじろくくしてあはる  
はらけなまひらけり  
あまわてこゝろはこゝろを  
めまをじろくくしてあはる  
はらけなまひらけり  
あまわてこゝろはこゝろを  
めまをじろくくしてあはる



あやしくぬよきいぬよたらん  
こころは治山の僧を撰む  
たとはかまそふかへはめ  
きりりたしうけぬいも秋  
の月をみまよ暁のきよふあはる  
ういさうふあさういあひく  
まいりきりぬきみせを  
かよまうさうくしぬをた

小町を以てかゝのそとにほの孝  
ひめは海なるあはれさあやう  
あそつよのらにいとよの死女の  
なやめさやとらあさこあはら

法よのらぬををんあ乃うこ  
あねもあさこ大友乃とら  
ぬもそなはたかこやこいは  
たまたたかこやか人のいれ乃陰

やまめらるるこをたしこ乃ほれ  
やまめらるるその名よこのゆきのり  
おぼるかたはたむしひ乃こあ  
をやしにしきまの木の葉は

こころよおやうれと歌と乃を  
思ひてうたさまのぬなま  
かろよい万まのあまの  
したまろくめはこよは乃

東まいゝはかしのまふたのんあり  
ぬるあまの福まにねほんうつく  
しゝの波やしまねおりまえ  
あのをきえひろよおん母と息の陰  
つくはやまののあせまのよあまゝく  
おまゝまゝのよのつものまのいそ  
ふかあゝいゝあまゝのあまらゝあ  
事をさそそ路もぬあまあ

いふ一乃古とをさへあまの禮  
しかりにいふ越えおな  
たまふとて今えんそぬや  
後の世より母法いふまをさとて

正徳五年四月十日の太内記  
まのいふぬの活書のいふところ  
紀實いふた乃のいふのさうか  
おほいふちのみるね者清の

府生にふたしむるは  
と申すもんえんか  
古き歌うつら  
らしめ給ひてあ  
んそれの中も

梅字の法はまよ  
あはれをほと  
まはをまきも  
みち越り雪  
をみよふた  
たるやまを  
まの勢を  
龜  
ついで君字  
たむひ人を  
も祝ひ

秋も葉集夏も子をいんてはまを  
こしあふかひのやまよるる  
たむぢり越いのあある春も夏  
秋もよもいぬかひはらるる

子ねまええつねはまいたまひける  
まへと子うたはいあまあつたて  
古今和歌集といふこのまひ  
阿つるええまをまをこりた水の

たえに演のまゝに女のおおく  
つもりぬきいへるあすのまの  
せよあるうらみえまゝに  
さうきいへのはなとねを  
あ

こひのふある歳それより  
あとは妻乃をよひす  
なぐしむむねよ名は美  
秋のね乃なまのまをかそれ



かつきひとのみふおそりつま  
秋乃らよばちおもとちるねえく  
やのしちおあつしおあまか  
はらゆきまらら乃よにおもく

うまれそは事しねとちよあはる  
字なるんよ後こひぬるひとあはら  
ななくねりふこれと秋のことや  
まきまられたたとひ時うらのた

さきき多のーみう好ーゆ丸  
うふともこの歌乃せー有字也  
青柳好いとくはまのまは  
ちわうきほしそまはたま乃の

はらあうくしてまらぬあま  
心さーいふいまぬま歌乃  
さ方をさしーさうこのんを侍  
たら母人いおほりら好月字

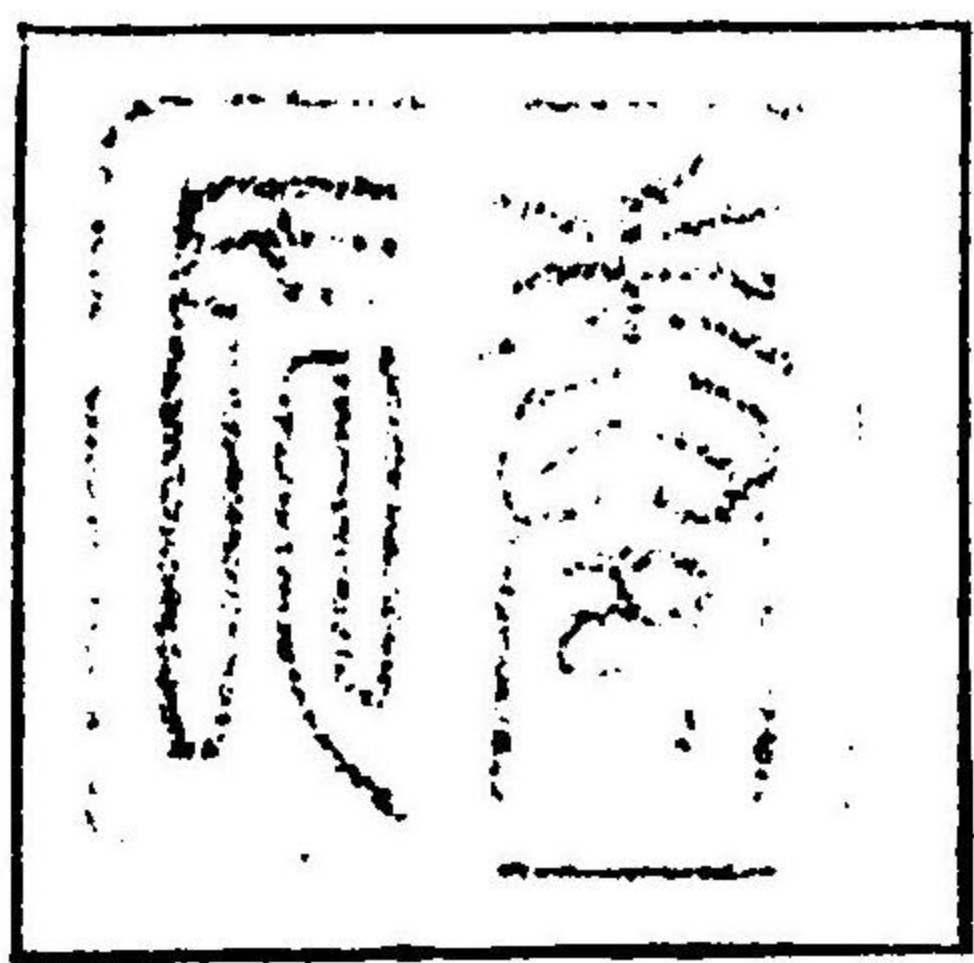
見ざるを  
あふまざるを

こひ謝らぬの茂

菱潭書

明治十八年二月十日板権免許

定價廿錢

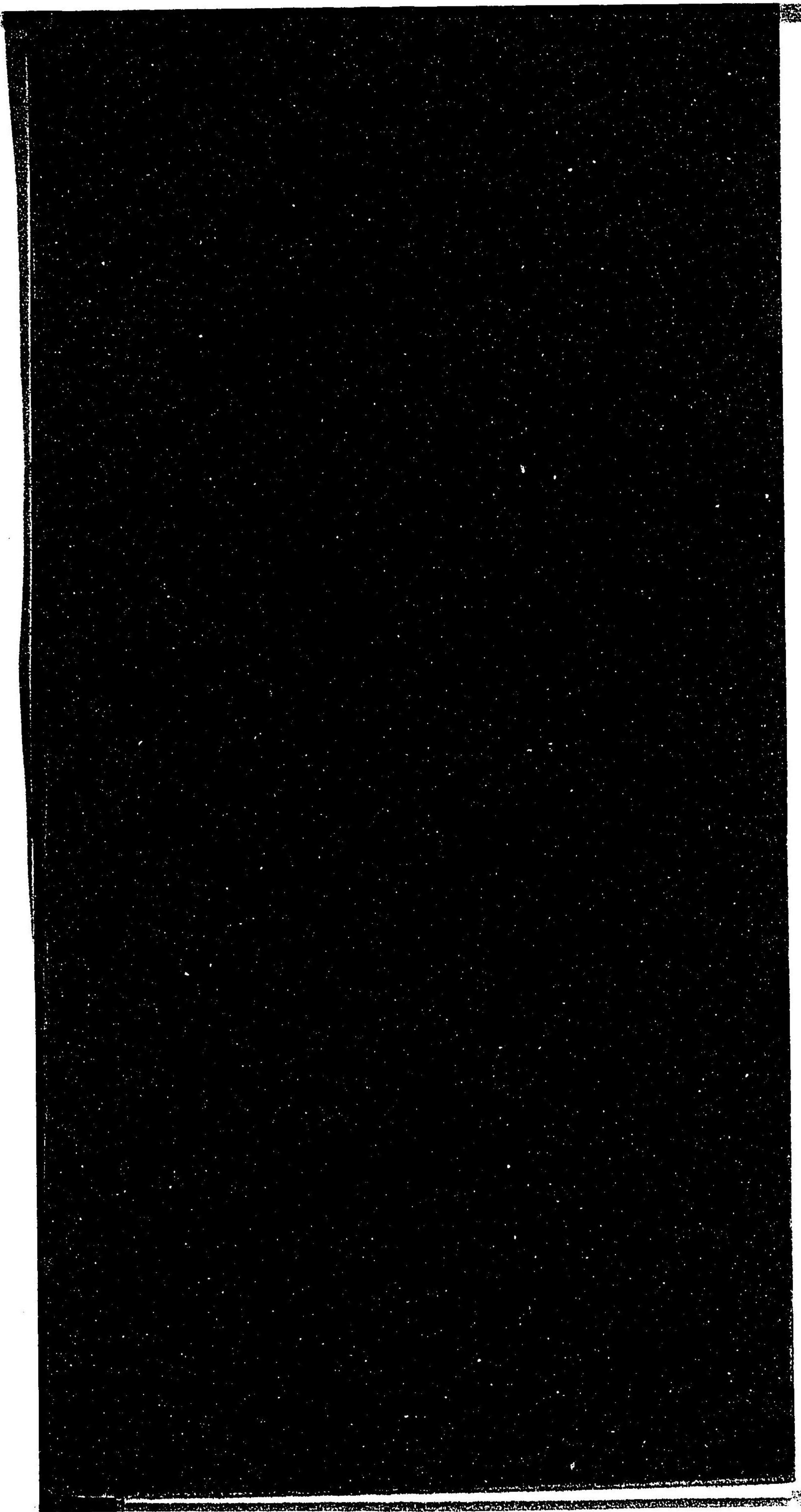


書者 卷 菱潭

東京日本橋區本町三丁目三番地

出版人 秋山 純

同本板権は明治十八年二月十日三番地



特56

585

070890-000-6

特56-585

古今和歌集序

卷 菱潭/書

M18

CED-0329

